



平成 21 年 8 月 27 日

各 位

株 式 会 社 ジ ャ ル コ  
( J A S D A Q ・ コード番号: 6 8 1 2 )  
代 表 取 締 役 社 長 金 子 智 行  
問 合 せ 先 上 席 執 行 役 員  
杉 田 多 生  
TEL (050)5536-9824

### 第三者割当増資引受による株式会社ハリーズの子会社化に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 8 月 27 日付開催の臨時取締役会において、株式会社ハリーズが実施する第三者割当増資を引受けることにより、子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

#### 記

##### 1. 株式の取得の理由

当社はコネクタ技術および高周波技術を機軸に民生用及び産業用の映像機器・音響機器に使用される電子機器用部品並びに電子機器の製造販売を手がけており、電子部品市場での確固たるグローバルな地位を築いております。また、金属加工機械等および部品、付属品の製造販売も手がけております。

また株式会社ハリーズ（以下「ハリーズ」といいます。）は、開発型ベンチャー企業として、近い将来における RFID(IC タグ)の世界的普及、拡大するタッチパネル市場を見据え米国ウォルマートが推進するサプライチェーン向け RFID(IC タグ)の製造において実績のある超高速 RFID 製造装置や、タッチパネル方式の携帯電話等に利用される薄板ガラス加工機等、電子部材・大衆消費財の高効率生産を実現する装置の開発・製造販売をグローバルに展開しております。

ハリーズの有する高速且つ高精度を実現するテクノロジーは、プロセス・イノベーションを実現するものであり、各種フレキシブル基板や将来のプリンティッド・エレクトロニクスによる種々の電子デバイスへの電子部材実装等、幅広い応用が各方面から期待されております。

近い将来、当社が開発するコネクタ・電子部品の効率的な製造及びその実装等において、この技術が活用される予定です。

当社によるハリーズの子会社化により、両社は、それぞれの得意分野を中心に経営資源

の有効活用を進めること、及び、シナジー効果を発揮し、新たな付加価値製品を開発するとともに両社の販売力を強化することを意図し、本件第三者割当増資を引き受けることに合意いたしました。

両社の協力により、技術面において当社が所有する高周波技術およびアンテナ技術とハリーズのRFID製造技術を組み合わせることにより、新しい価値を生み出すRFIDの開発も可能となります。また、ハリーズにおきましては本増資により調達した資金を設備投資及び材料調達資金等として使用することによって、現状25セント程度のRFIDに対して、ハリーズが取り組む普及化のターゲット価格とされている、いわゆる「5セントRFID」の早期実現を行い、それに伴うRFIDの世界的普及において一層の弾みを付けることが可能となると見込んでおります。一方、販売面ではハリーズ開発によるタッチパネル・LCD等の薄板部材を効率的に加工する装置を、当社のグローバル販売網を用いて携帯電話・ネットブック等において急速に需要が高まっているタッチパネル市場向けに販路拡大していくことが可能となり、これによるハリーズにおける収益力強化が見込まれます。また、両社の相互技術協力による製造ラインの見直しや共通化、管理部門の合理化を図ることで製造コスト、開発コスト、及び管理コストの削減効果が期待されます。

これらのことから、「経営再建計画」に基づく再建途上の当社において加速度的な収益力強化の実現が期待され、製造コスト、開発コスト、及び管理コストの削減効果により、「経営再建計画」の前倒しの実現を可能に出来ると考えております。

また、この提携は、両社株主の企業価値向上に資するだけでなく、お客様・従業員等すべてのステークホルダーにとっても有益なものと考えております。今後は、電子部品市場に於けるシナジーを追求し、企業価値の最大化を目指します。

## 2. 異動する子会社の概要

商号	株式会社ハリーズ
代表者	代表取締役社長 青山博司
本店所在地	兵庫県明石市大久保町江井島 811 番地の 1
設立年月日	2000 年 7 月 31 日
主な事業内容	消費財製造装置等の開発・製造・販売
事業年度の末日	6 月 30 日
従業員数	29 名
主な事業所	本社・江井島工場・上海事務所
資本金の額	471,825,000 円
発行済株式総数	2,909 株
大株主構成および所有割合	・青山博司 370 株 (12.7%) ・ネクスト・ファンド投資事業有限責任組合 300 株 (10.3%)

## 最近事業年度における業績の動向

(単位：千円)

	平成 19 年 6 月期	平成 20 年 6 月期
売上高	253,362	293,881
売上総利益	69,264	58,124
営業利益	△200,978	△197,022
経常利益	△203,271	△209,474
当期利益	△121,730	△248,632
総資産	722,380	610,832
純資産	326,964	122,332
資本金の額	365,300	387,300
1株当たり配当金	—	—

## 3. 異動の方法

ハリーズの第三者割当増資を当社が引き受けることにより 3 分の 2 相当（所有割合 66.7%相当）の株式を保有し子会社化いたします。

## 4. 第三者割当増資引受の概要

- (1) 新株の種類及び数 普通株式、数は未定
- (2) 発行価額 未定
- (3) 発行価額の総額 約 2 億円
- (4) 払込期日 未定

(上記概要については、ハリーズにおいて平成 21 年 9 月 25 日に定時株主総会が予定されており、それまでにハリーズの実施する第三者割当増資の引き受けによる子会社化を前提とする具体的な協議を進めてまいります。

株主の皆様方には、詳細な内容が決まり次第お知らせをいたします。)

## 5. 引受株式数及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 引受前の所有株式数：0 株（所有割合 0%）（議決権の数 0 個）
- (2) 引受株式数 発行済株式総数の 3 分の 2 相当（引受価額 約 2 億円）（議決権の数 全議決権の 3 分の 2 相当）
- (3) 異動後の所有株式数 同上（所有割合 66.7%相当）（議決権の数 全議決権の 3 分の 2 相当）

## 6. 第三者割当増資引受の日程

平成 21 年 8 月 26 日 ハリーズ取締役会決議（当社の臨時取締役会決議を前提とする停止条件付）

平成 21 年 8 月 27 日 当社臨時取締役会決議

平成 21 年 9 月 25 日 ハリーズ定時株主総会

当社においてはハリーズの当該定時株主総会決議後に発行済株式総数の 3 分の 2 相当の普通株式を取得する予定であり、それまでにハリーズの子会社化を前提とする具体的な協議を進めてまいります。

株主の皆様方には、詳細な内容が決まり次第お知らせをいたします。

#### 7. 今後の見通し

今期の業績への影響は精査中であり、決まり次第お知らせいたします。

以上